

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年7月7日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>Charles Comics No.177</p> <p>二番の中で一番上</p> <p>令和3年6月15日発行</p>	<p>修整が白ぬきで甘く、性描写もあり、指定やむなし。</p> <p>暴力的なシーンはないが、全編にわたりほぼ性行為の描写が微に入り細をうがち描かれており、擬音、体液描写が多く、性器の形状も白抜きでほぼはっきりと描かれている。著しく性的感情を刺激するもので、成人向きと考えられる。</p> <p>絵はコミカルな所もあり、やわらかい感じで、強制的・人格否定的な印象は受けない。全体を通して、二人の関係を描いている。性器も白く抜かれているが、形状が分かるといえば分かる。体液の描写、性交シーンも多い。指定該当。</p> <p>絵柄は淡白だがコマ数が多くその分細部に描写している。口や手での動作が生々しく、擬音、体液の描写も激しい。性器は白ヌキだが逆にハッキリとわかる。全体的に見てもセックス描写が非常に多く卑わい感が飛んでしまった。強制的暴力的な描写はないが総合的に判断し、指定該当。</p> <p>相思相愛のBL漫画。男性器の形状が分かりやすい消しである。性行為を中心とした展開なのはいいが、性器描写のない構図や、カメラワークで表現してほしい。消しが甘めの男性器の登場回数が青年レベルをこえている。指定やむなし。</p> <p>性器を白抜きで描写してあるものの形状がやや分かること、擬音が多いところは議論が分かれるところだがコミカルなタッチであり、人格否定もなく、純愛的なストーリーのため保留。</p> <p>体液描写など一部卑わいな部分もあり、性器の形状が分かるものも見受けられるが、全体的に性交シーンも多くなく、総合的に判断して指定非該当。</p> <p>全体的に性交シーンはやや多めではあるが、登場人物2人が合意のもと、性交を重ね、強制的な要素もなく不快感も感じない。性器の修整も白抜きでされている。総合的に判断し、指定非該当。</p> <p>擬音、体液描写や性交シーンは多い印象。暴力、強制や人格否定に該当する様な描写は見受けられない。性器の修整についても、白抜きにより確実に加えられている。コミカルに描かれている箇所も多いことから卑わい感もあまり感じない。結合部も修整を加え、はっきりと読み取れない様に工夫している。指定非該当。</p> <p>大人の同意のもとの恋愛もの。しっかりとしたストーリーである。性器の表現はぼかしが弱い様に思うが、全体から見ると問題ではない。性交シーンばかりではなく、暴力的な所もなく、人格否定にあたる様な所もないので指定非該当。</p> <p>物語の冒頭から、双方合意の上で行為が成立し、恋愛感情に発展し恋人関係に進んでいく展開。BLでここまで純朴に展開する作品はとても珍しいと感じた。一部性器の修整が甘く、体液描写もゆきすぎた部分があるが、卑わいな描写、人格を否定するようには感じなかった。指定非該当。</p> <p>消しはそこそこしっかりしているが、形がみえ、液が残されている。消しのコマ数多い。結合部など局部が強調された部分が多い。コミカルで卑わいさはそれほどでもない。暴力なし。人格否定なし。画角の工夫の余地もあり、とても迷うが、条例としては卑わい感という観点から非該当。</p> <p>性描写は多いが、登場人物像はしっかり描かれ、ストーリー性もあり、物語上の必然性を大きく逸脱しているようには思わない。性器修整に一部、形が露骨な箇所もあるが、白ヌキ加工されており一定の配慮は認められる。人格否定、暴力シーン等もなく指定非該当。</p> <p>戯画的に描かれた性交シーンは他愛ないユーモアもあり卑わい感があるとは言えない。内容も好きな者同士の交流が淡々と続くばかりで暴力的でもなく人格否定やその美化があるわけでもない。性器表現は基本的には白で抜かれるなど配慮はされており、フォルムの明確化や加えられた線画による体液表現など若干の議論の余地はあるが、指定非該当。</p> <p>性的行為の描写のページ数が一定の割合を占めるものの、性器は白く修整されている。また、淡白な絵柄と補足説明のようなナレーション表現のためか、卑わいな感じを与えない。著しく性的感情を刺激するという基準を満たしていない。指定非該当。</p> <p>絵柄もストーリーもコミカル、性的感情を刺激するようには感じない。合意の上での性交で人格否定的な要素もない。修整も配慮は見られる。指定非該当。</p>